

■ ■ チャレンジデー 高橋慶彦さんらが応援に

全国の自治体同士がスポーツ行事への住民の参加率を競う「チャレンジデー2018」（笹川スポーツ財団主催）が、5月30日に行われました。

今年は、福島県南会津町と対戦。市内では朝早くから、市陸上競技場やもとまち公園などでのラジオ体操をはじめ、パークゴルフやウォーキングなどに多くの市民の皆さんが参加しました。

また、夜には、今年芦別市の「星

の降る里あしべつ応援大使」に就任した、元プロ野球広島カープ選手の高橋慶彦さんが駆けつけ、本市出身のタレント・ようへいさんとトークショーを繰り広げたほか、参加した市民の皆さんと一緒にストレッチ運動を行いました＝写真＝。

チャレンジデー集計の結果、参加者は7,197人、参加率は51.4%と、初めて5割を超え、4年ぶりに勝利しました。



▶市陸上競技場で行われたラジオ体操



■ ■ 人権の花運動 芦別小学校で4年生が花植え



法務省主催の「人権の花」運動が6月8日、芦別小学校で行われました。

人権の花運動は、子どもたちが協力して花を育てることを通して、生命の尊さを実感し、優しさと思いやりの心を持ってもらうことを目的に全国で行っているものです。

当日は、芦別地区人権擁護委員会の永井雅己会長はじめ人権擁護委員5人と熊倉裕幸札幌法務局滝川支局長らが同校を訪れました。

花植えには同校の4年生がベコニアやサルビア、マリーゴールドなどの苗を合計20個のプランターに丁寧に植えました。

■ ■ みどり幼稚園50周年記念で植松さんが講演

6月9日、芦別みどり幼稚園創立50周年記念講演が市民会館で開催され、本市出身で、植松電機代表取締役の植松努さんが講演しました。

講演会には、近隣の幼稚園関係者のほか、保護者など約400人が参加。

植松さんは、「思うは招く～夢があればなんでもできる」と題して、

小学生のころから夢中になっていた紙製の飛行機づくりから、現在ではロケット製作の事業を実現させている経験などを踏まえ、「子どもが興味を持ったことに対しては、否定は絶対にせず、一緒になって実現の可能性を考えてあげてほしい」などと、訴えかけました。



■ ■ 市と芦別青年会議所がまちづくり事業連携で協定を結ぶ



6月9日、一般社団法人芦別青年会議所（佐藤祐一理事長）の創立65周年記念式典が総合福祉センターで開催され、中期ビジョンと記念事業の発表などが行われました。この中で、芦別市と同会議所との間で、「あしべつまちづくり事業連携協定」の締結式が行われました。

同協定は、芦別青年会議所が芦別市の抱える問題の解決に向けて積極的な連携・協力を行うことにより、市の活性化に寄与することを目的としており、産業振興や教育支援、観光事業など幅広い分野で情報提供や事業への支援などを行うとしています。